

「1」「2」は地理的分野、「3」「4」「5」は歴史的分野、「6」「7」は公民的分野に関する問題で、それぞれの分野からまんべんなく出題しました。各分野とも教科書に沿った基本的な問題を中心としています。

問題は大きく2種あります。知識を問うものと思考力を問うものです。もちろんどの問題にも両方の要素が含まれます。知識にはおおまかに3つの種類があります。教科書の本文にあるような普通の知識と、地図上の位置や形・写真や絵などの知識と、時事問題的な教科書にはない知識です。思考力もおおまかに3つの種類にわけられます。統計を読み取る力、計算問題を解く力、論理的に思考する力です。

多くの問題は普通の知識を問う問題ですが、「1」「2」では地図上の知識が、「3」では史料の知識、「1」「5」「7」では時事的な知識が問われています。思考力に関しては、「2」「7」では、統計資料の読み取りの能力が問われ、「1」では時差の計算問題が問われ、「6」などは論理的思考力が問われています。「3」では歴史的事実にもとづいた自由な発想力が問われています。

以上、準備してほしいことは、基本的な問題ばかりでなく、地図、写真などの資料にも親しみ、時事問題にも興味を持ち、問題の文章の正確な読み取りや、論理的思考力の形成をはかることです。

なお、各問題の難易は次のようでした。全体として男女とも6割台後半の平均点でした。分野別には、歴史の平均点が一番高く7割台後半でした。ついで公民が6割半ば、地理が6割弱でした。また、男女別では、地理と歴史で男子の方がやや高く、公民では男女ほぼ同じでした。

問題別では、「1」はヨーロッパ旅行記を題材にした世界と日本の地理問題で5割位の正答率で最も低く、「2」は日本の農業や農産物統計に関する問題で8割弱の正答率でした。「3」は原始・古代の著名な建造物を中心とした日本史問題、「4」は中世・近世の著名な合戦図や絵画を題材とした問題でともに8割前後の正答率でした。また、関ヶ原の戦いについての記述問題は良く書けていました。「5」は近現代史について7割強の正答率でした。「6」は予算や国会を中心とし、「7」は国際関係についての問題でともに6割半ば程度の正答率でした。

1	問1	テムス	川	問2	本初子午線	問3	午後9時	問4	ウ				
	問5	ルーブル	美術館	問6	イ	問7	①才 ②ク ③イ						
	問8	地中海	問9	①東京都 ②沖縄県	問10	ウ							
	問11	冬	イ	夏	ウ	問12	ア	問13	札幌市	問14	イ	問15	エ
	問16	ホワイトハウス	問17	シリコンバレー	問18	イ	カ						
	問19	ユーロ	問20	ウ	問21	バチカン	問22	ア					
2	問1	①雪 ③たい肥	問2	イ	問3	ウ	問4	オ					
	問5	エ	問6	ア	問7	イ	問8	タイ	問9	エ			
3	問1	青森県	問2	たてあな住居	問3	東大寺	問4	聖武天皇					
	問5	平城京	問6	法隆寺	問7	隋	問8	藤原道長					
	問9	紫式部	問10	C									
4	問1	C	問2	徳川家康	問3	北条時宗	問4	鎌倉					
	問5	足利義政	問6	書院造	問7	織田信長	問8	鉄砲					
	問9	ア D イ B	問10	A イ B エ C ウ									
	問11	勝利をえた豊臣氏は、朝廷の権威を利用し全国支配をすめた。大阪は政治・経済・文化の中心として栄えた。											
5	問1	ウ	問2	福沢諭吉	問3	25歳	問4	伊藤博文	問5	小村寿太郎			
	問6	清	問7	下関	問8	満州国	問9	広島	長崎				
	問10	15日	問11	エ	問12	日中平和友好条約	問13	ウ					
6	問1	(1)ア (2)イ (3)エ	問2	(1)エ (2)もちこませず									
	問3	(1)参議院 (2)エ (3)国民主権 (4)象徴 (5)イ・ウ											
7	問1	(1)イ (2)国際連合	問2	ウ	問3	イ	問4	ア	問5	ウ			
	問6	ウ	問7	【アメリカ】 Z 【中国】 X									

得点